

## 筑波山(裏筑波周遊コース)山行報告

【山行日】 2015年 4月 12(日) 晴れ

【集 合】 結城アクロスP AM 8:00

【費 用】 マイカー1台 : 600円

【メンバー】 CL:鈴木、 大西、香川、梶内、  
関、野口、福田夕、松館、渡辺

【コースタイム】結城アクロス P8:00＝深峰歩道  
登山口 P9:00/9:15～筑波高原キャンプ場 9:40～  
女体山 10:50～御幸ヶ原 11:00～男体山 11:20～  
自然研究路分岐 11:40/12:15～御幸ヶ原 12:30～  
深峰歩道登山口 13:30＝結城アクロス P14:30



昨日の鐘撞堂山山行が雨で中止となり、カタクリやニリンソウ、キクザキイチゲの花を求めて、裏筑波山行を計画した。今回はN口さんが、体験山行で参加されるので、楽なコースで登るようにした。



深峰歩道登山口に着き、ストレッチと自己紹介を行って出発する。林道を下り、筑波高原キャンプ場の道標を右に曲がると10分ほどでキャンプ場に着く。ここには整備された駐車場とトイレがあり、ここに車を置いて登る人が多く、駐車場は満車になっていた。トイレを済ませキャンプ場の広場に出ると、桜の花が満開で西側が開け関東平野を見渡せる。記念写真を撮り、キャンプ場の中の道を登って行くと、一番奥に登山道があり山の中へ入って行く。

針葉樹林帯を進み、しばらくすると自然林を登るようになり見通しも良くなる。カタクリの花が登山道の両側に沢山咲き、キクザキイチゲやタチツボスミレの花が心を癒してくれる。今日は天気が良いので、家族連れやグループ登山のパーティが多く、登山道が人で繋がっていた。途中休憩をとり、水分補給をする間に20数人に追い越される。山頂が近くなると、段々傾斜がきつくなりN口さんの足が止まり呼吸を整える。アズマネザサの中の急登を頑張ると、女体山山頂の階段の下に出る。ベンチで休憩して呼吸を整え、階段を登って山頂に立つ。山頂は大勢の登山者で賑わっており、順番を待って記念写真を撮り下山する。御幸ヶ原へ向かう途中、アンテナ脇の陽だまりで、コーヒーと菓子を食べてエネルギーを補給する。



カタクリ群生地を周遊し、カタクリの花をゆっくり鑑賞するが去年より花の数が少なく思えた。



御幸ヶ原でトイレに寄り、自然研究路に向かう。男体山に向かう階段を登り、直ぐに左に曲がって時計回りに周遊したが、立身岩の先で登山道が崩落して通行止めになっており、そこから男体山へ直接登った。山頂から関東平野の眺望を楽しみ、神社にお参りをして下山する。途中の茶店跡の、コンクリートの平らな場所でランチタイムとする。今日の山ごはんはけんちんうどんに天ぷらと豪華版。さらに K 氏がコゴミの天ぷらを持参し、厚焼タマゴやおひたし、煮

物と食べ切れないほどの御馳走が並んだ。

お腹いっぱい下山の支度をしていると、オジサン2名とギャル4名のグループが食事の支度を始めた。覗いてみるとパン4種類にサラダも4種類。さらにウイナーソーセージをフライパン一杯にソテーし、トン汁まで作り、6名で食べ切れるの？と心配してしまうほどの超豪華版。

うらやましそうに横目で見ながら下山する。下山は車を止めた、深峰歩道登山口に向かって下る。

このコースは山頂まで最短で登れるコースで、家族ずれや高齢の登山者に人気のコースである。



道幅も広く良く整備されており、登山道の両側にカタクリの群落があり花の豊富な登山道である。カタクリやエイザンスミレ、タチツボスミレの花を楽しみながら快調に下る。

下りは楽で、会話も弾み一時間足らずで登山口に到着する。

帰りの道路も順調に走り、予定より早くアクロス駐車場に帰着出来た。